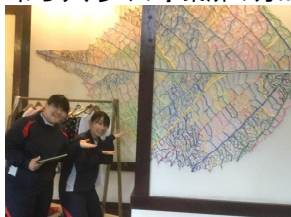




緒方中学校は10月22日(木)、朝地中学校は11月11日(水)12日(木)に2年生の職場体験学習を実施しました。コロナ禍にも係わらず、多くの事業所の方が中学生の職場体験学習を快くサポートしてくださいました。



【生徒の感想】

今回の職場体験で学んだことは、お酒を造ることは、とても簡単なことではないということです。今回体験をするまで、僕は材料を機械に入れたらあとは機械が全てやってくれると思っていました。しかし実際に作業を体験すると、機械を使った作業はほとんどなく、手作業がとても多くて、驚きました。作業も肉体労働が多く、作っている人の苦勞を感じました。また、蒸した米を冷ます作業では、僕たち素人は熱く感じて長時間できない作業も、お店の方々は、ずっとしていたのですごいなあと感じました。体験で得たことを日頃の生活で活かしたいです。

私が小学校で学んだことは、教師は楽しい仕事だということです。私が入ったクラスの担任の先生は、外見は怖く、厳しそうでしたが、授業中は笑ったり、時々注意していたりして、とても楽しそうでした。サポートの先生は教科書やプリントを見せてくれて優しくかったです。クラスのみなも質問してくれました。しかし、年下の子に教えるのは言葉を選んだりしなくてはなりません。これが案外難しかったです。無理なことを言われて焦ったこともありましたが、「また来て！」と言ってくれてうれしかったです。将来教師になるのもいいと思いました。そして教頭先生も楽しいと言っていたので、ますます教師になりたいなと思いました。どうなるかわからないけど、勉強を頑張っていきたいです。

私は、駅員の仕事は、改札をしり切符を集めたりすることとかならうと思っていました。しかし、1日目、「お迎え基礎言葉」や「サービス憲章」を声に出して読んだ後、駅の構内や階段の掃除や窓ふき・消毒などをしました。とくにつらかったのは、押印の仕事でした。駅長さんが、「意味のないような雑用でも、誰かがやらないといけない。そして、その誰かがやることで意味のある仕事になる。意味のない仕事なんてないんだよ。」と話してくださいました。駅の仕事は接客業です。常に、お客さんに感謝をしなければいけません。しかし、お客さんの目に見える仕事は少ししかありません。アナウンスも声だけなので、誰がやっているのかわかりせん。駅員の仕事は、みんなから見えない仕事が多いのです。

私は、三重駅の職場体験で多くのことを学びました。礼儀、声、気配りなど、少しは成長したのではないかと思います。さらに、今後、これらの気づきをどう生かしていくかが、私の大きな課題だと思います。

私が、職場体験で感じたことは、働くことの大変さです。とにかく覚えることが多かったです。窓ふきの時は、水でぬらしてしっかりしぼらないと、水滴や筋が入ってしまうとか、レシートにサインをもらう時の渡し方など他にもたくさんありました。それに、私はやりませんが、洗車や点検・タイヤ交換などもあります。お店の人は、私が休憩している間も休まず働いていました。すごいなと思いました。職場体験をしている時、うれしかったことは、「ありがとう」や「頑張って」など、たくさんの人が声をかけてくれたことです。でも、私は、やっぱり知らない人とは、会話するのが苦手なので、お客さんから声をかけられても笑うぐらいしかできませんでした。今後、改善できるように努力します。